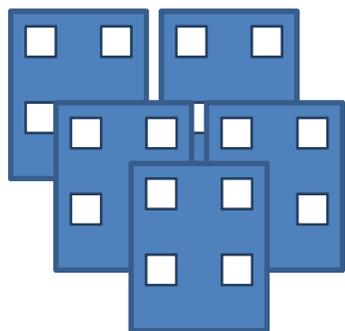
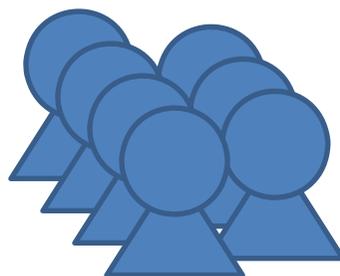


ATPの現状

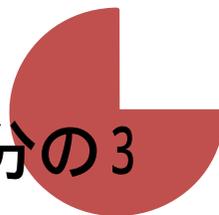
ATP会員社128社



制作者
約1万人



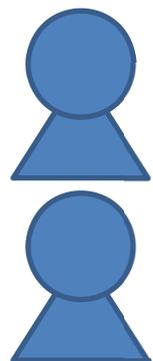
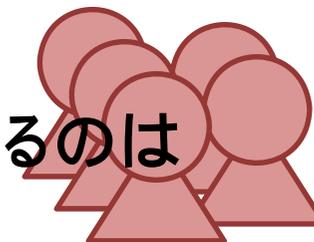
金額ベースでは、
日本の映像産業の4分の3



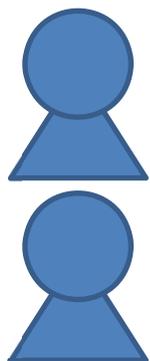
現在放送されている番組

50%以上

ATP会員社が
制作に関わっているのは
全体の50%以上



制作者の
活性化



=

コンテンツ創富力の
強化

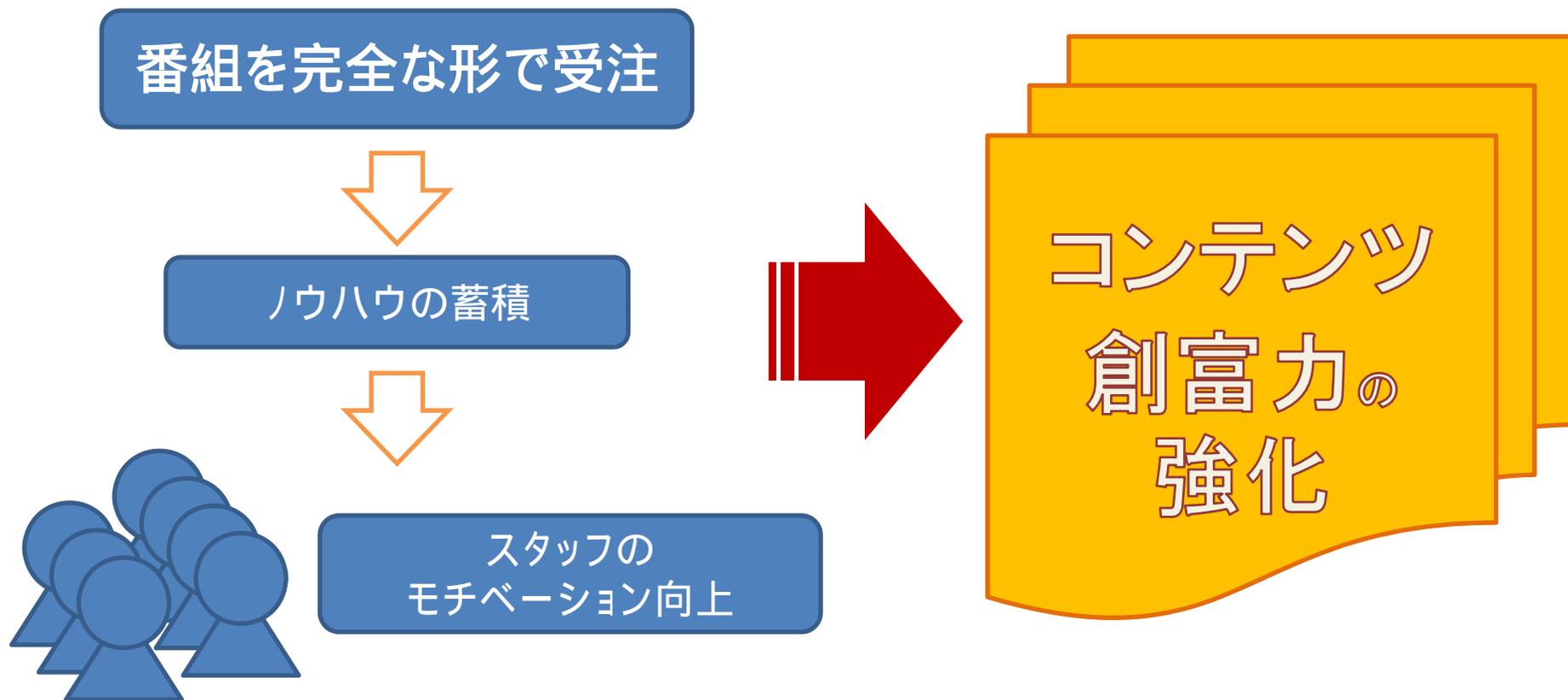
ATPの提言

1. 放送のシステムを変える

2. プロダクションのパラダイムシフト

3. 海外展開

ATPの提言 放送のシステムを変える



NHKの外部発注比率を目標数値化や、イギリスの成功例などにも注目。

ATPの提言

プロダクションのパラダイムシフト

テレビ番組の二次利用だけでは、
コンテンツの価値の増大化には限界

テレビ番組における
新しいウィンドウ方式の確立

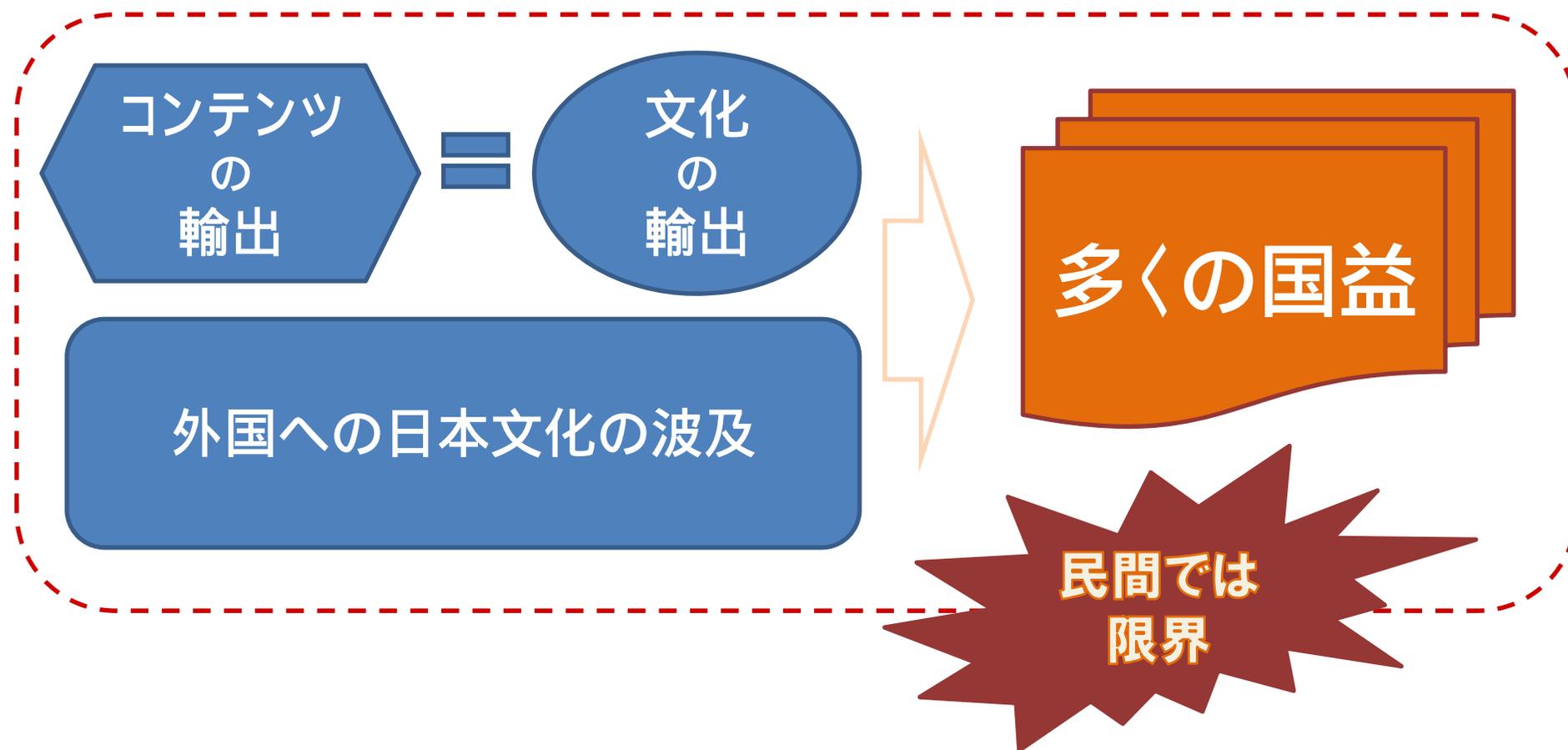


真のコンテンツメーカーへの脱却



歴史的にテレビプロダクションは資金的にも販路的にも脆弱なので、ここにおいては国の支援をいただきたい。

ATPの提言 海外展開



- 国の予算による外国放送枠の取得
- 多目的コンテンツの日中共同制作なども、今後の海外展開のためには非常に有益